

2022年度 総合政策学部 FD 活動方針・活動計画

1 2022 年度総合政策学部 FD 活動方針

今年度の FD 活動の方針として、主に三点が挙げられる。

- ① 2020～21年度の学部FD活動の中で検討した改善策をもとに本年度から新たな内容と態勢で始動する「総合政策基礎演習B」について、適切な点検を行なっていく。
- ② 新型コロナ感染対策の中で対面、オンライン、ハイブリッドの3形式が混在する開講形態が本年度も続くと予想される。こうした授業形態の多様化に対応して、現在そして今後、求められる効果的な授業の在り方にはどのようなものがあるか情報共有や検討を行なう。
- ③ 学科科目「政策研修プログラム」（通称NAP）について、世界的な新型コロナ感染状況の中で、2021年度は留学予定先校とオンライン形式で開講を行ない、本年度も同様の開講形態となることが見込まれる。2年目となる本年度は、科目実施の状況について、教員間での情報共有と点検、より充実した実施内容に向けた検討を行なっていく。

2 2022 年度総合政策学部 FD 活動計画

上記1活動方針に基づいて、以下の項目に取り組んでいく計画である。

- ① Q2の「総合政策基礎演習B」開講終了後、できるだけ早期（Q3開始頃）に、実際に授業の運営がどのようなであったか、受講生の反応、成果など全般にわたって情報を収集し、担当者全員による点検を行なう。それをもとに、次年度に向けて必要な改訂など検討していく。
- ② 2022年度中に実際に行なわれた授業の蓄積を踏まえ、年度末頃に研修会を持ち、次年度以降への足がかりとする。
- ③ 「政策研修プログラム」7科目のうち、夏期集中で開講する4科目（台湾、中国、フィリピン、タイ）の実施を終えた後の秋学期中に、それらの実施状況について情報共有をはかり、今後に向けた課題などの点検を行なう会合を設ける。会合の時期は上記2-①の実施と同じ秋学期となるが、適宜バランスをとって進めたい。

以上